

アバスタン【婦人科】療法



注射薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		アバスタン点滴静注用	治療の為のお薬です 約30分かけて点滴します

投与スケジュール

薬品名	日数																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
アバスタン点滴静注用	↓																												

3週毎に投与します。

アバステン療法【婦人科】

頻度は少ないが注意を要する副作用

★アバステンの副作用

- | | |
|--------------|--|
| 症 状 | ○高血圧、たん白尿、鼻血などの粘膜出血が起こることがあります。
○非常にまれですが消化管に穴があく(消化管穿孔)、傷口が治りにくくなる(創傷治癒遅延)、血栓症、けいれん発作などが起こることがあります |
| 対 処 法 | ○なるべく自宅でも血圧を測定しましょう。安静時の血圧が高くなるようであれば主治医に伝えて下さい。
○たん白尿を確認するために定期的に尿検査を行います。
○強い腹痛、口から血を吐いたり、鼻血、血便、強い頭痛、めまい、胸痛、まひ、けいれんなどがあれば早めに連絡して下さい。
○抜歯や手術など、出血を伴う治療・処置をする予定がある場合は、その前後でアバステン注の投与を一定期間お休みする必要があるため、事前に主治医へ報告してください |

副作用は薬剤ががん細胞を攻撃するとき一部の正常の細胞にも影響を与えてしまうことにより起こるものです。

もちろん正常な細胞は治療が終わればもとに戻りますし、副作用も少しずつ回復します。

副作用の出かたや、程度は個人によってさまざまであり、副作用の全てが現れるとは限りません。

大事なことは予想される副作用を十分理解し、その対処をすばやく行うことです。そして副作用があらわれた場合はもちろん、それ以外でも気になることがありましたらどんなことでも、主治医や看護師、薬剤師に相談して下さい。

医療法人敬愛会 中頭病院 (薬剤部)

